

感動商品開発の提案

～お客様の心を動かすものづくり～



金沢工業大学情報フロンティア学部心理情報学科
感動デザイン工学研究所 神宮 英夫 教授 所長 文学博士

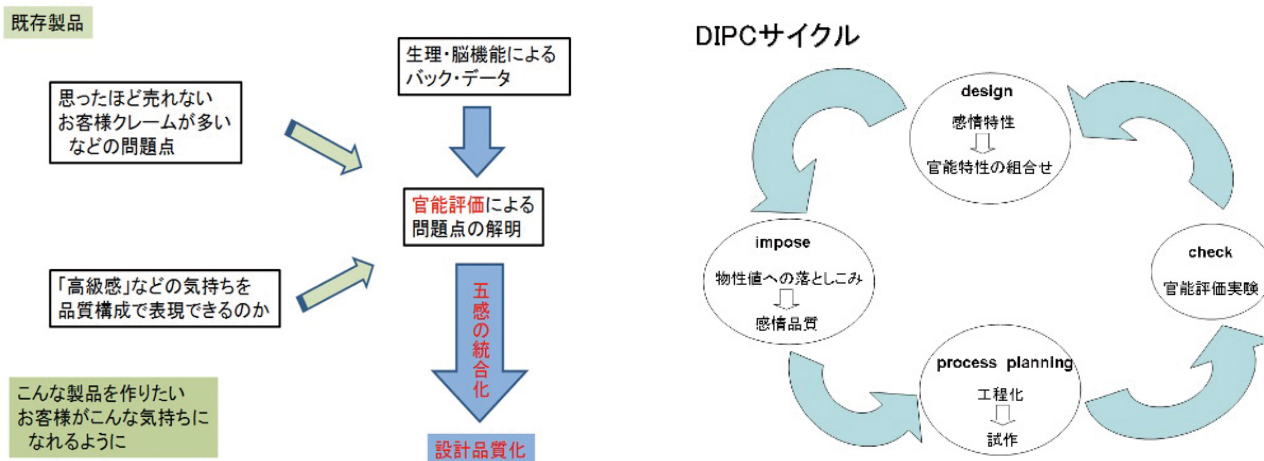
研究分野

感性工学 応用実験心理学 官能評価

研究テーマの狙いとその成果

お客様が商品と接したときに、食べたい・使ってみたいなどの心が動かされるような商品(感動商品)を開発するための技術開発が目的である。商品と接した時には、人は五感を通して、その製品を受け止める。そこで、その品質構成上で、五感情報をどのように上手に組み合わせればよいかという五感の統合化技術を、官能評価手法を使って開発した。さらに、本当に心が動いたかどうかを、生体反応を測定することで、評価・検証する。

NIRSを使用した脳機能測定、心電計や発汗計やサーモグラフィーなどによる自律神経系の活動の評価、アイマーカーレコーダーによる視線解析、などの生体反応測定を複数組み合わせ、心の動きを評価するためのデータを取得し、官能評価結果との総合的な分析を行っている。現在、既存製品の感動商品化を目指したりリニューアル提案、他社とは異なる感動商品の開発提案、などを行っている。



応用分野

具体的な製品開発だけではなく、下記のような応用が考えられる。

- 感動をコンセプトにしたブランドマネジメント
- 感動を伝えるプロデュース提案

連携を希望する企業

エンドユーザーを対象とした商品全般